

第23回（光南高等学校野球部顧問 市川裕太）

『 「ありがとう」で奇跡が起こる！すべてがよくなる魔法の言葉 』

（佳川奈未著 PHP研究所）

今年2月に行われた高野連の指導者講習会では、臼井博文先生（株式会社サンリ）より「夢実現の法則」として、言葉の大切さについて教えていただきました。講演に参加させていただき、日ごろ何気なく発している言葉は、脳に響き、また自分の行動とつながっているのだということに気づかされ、購入しただけで満足していたこの本を最初から読んでみることにしました。刺激を受けた内容を抜粋します。

・感謝するほど与えられ、感謝をなくすと奪われる

あなたが感謝したものは、さらにあなたに与えられるようになり、逆に感謝をなくすとすぐさまそれは奪われることになるのです。結局、この人生であなたの目の前に現れるのは、あなたが感謝しているものだけなのです。

・自分を傷つけた人、辛い目にあわせた人に感謝する

なんでも親身になって一緒に考えてくれる友達や大切なアドバイスをくれる尊敬する人、また困った存在の人、あるいはあなたを傷つけたり裏切ったりする人もいるでしょう。それらのすべての人は、あなたにとって善人でも悪人でもなく、ただただ貴重な存在であり、感謝すべき人なのです。

・「ありがとう」と言われる存在になる

自分が周りのことに感謝し続け、謙虚に生きていけば、自分が「感謝していた人」から「感謝される人」になっていくのです。次は「認められる人」になり、それでも傲慢になることもなく、感謝する姿勢を忘れず、謙虚に自分の良い部分を惜しみなく出しきっていくと「必要とされる人」になっていくのです。

自分にとって「有難い」と思ったことに対しては自然と感謝しているが、当たり前として捉えがちなことにも感謝をしなければいけないこと。選手がいることに感謝、グラウンドがあることに感謝、高校野球と携われていることに感謝など、全てのことを当たり前と思わずに感謝することが大切であることに気づかせてくれた本です。

最後に、読書の習慣がない私に本を読むきっかけを下さった、六角先生をはじめとする書籍リレー関係者の方々、リレーのバトンをくれた伊東先生に感謝します。